

マスターズクラブ第63回セミナー

演題：「粘液はなぜ滑るのか -バナナの皮が語る摩擦の科学-」

講師：馬淵 清資 北里大学 名誉教授

日 時：令和4年5月10日（火）13:00~15:00

講演概要： 潤滑油に代表されるヌルヌルの液体が、なぜ、滑りをよくするのか。この当たり前とされている現象が、いかなるメカニズムによるのか、科学的には明かにされていません。本講では、バナナの皮の滑りから、摩擦の本質に至る筋道を示します。

開催方法： 油脂工業会館9階大会議室で開催しZoomで同時配信します。

会場で受講されるか、Zoomで受講されるかを申込時にご記入ください。感染予防の観点から会場入場者は先着30名様に限らせて頂きます。その結果とZoomのURLはお申込完了後にメールにてお送りいたします。



馬淵清資先生の紹介

聴講される皆様へ 馬淵先生からのメッセージ

バナナの皮の滑りの良さを支える粘液の働きは、関節などの生物体の滑りに共通です。機械油も含めて生命由来の有機物である粘液が、どのようにして、滑りをよくするのか。なぜ、有機物のみにその力があるのか。さらに、有機物を合成できない科学技術の限界や、有機物を破壊するエネルギーという力さえあれば、という現代文明の歪んだ価値観についても、お話しできればと考えています。

・ご略歴

名古屋生まれ,庚寅。1973東京工業大学工学部卒業。1978年東京工業大学大学院博士課程修了（工学博士号取得）。1991年北里大学医学部助教授。1994年北里大学医療衛生学部教授。2016年北里大学名誉教授。国立医薬品食品衛生研究所客員研究員。

現在は、コンタクトレンズ、人工関節などの生体材料の性能評価のための摩擦測定、手指の摩擦の年齢相関を調べる摩擦測定などの実験研究に従事。

・ご専門分野 生体工学，バイオメカニクス，バイオトライボロジ

・最近の研究・活動

イグノーベル賞受賞をきっかけに、各方面から講演依頼をいただき、2年前までは、年間10件ほど担当。また、新聞、雑誌の取材や、テレビ、ラジオの番組への出演も相当の数になっている。

詳細は、[Wikipedia「馬淵清資」を参照ください](#)。

・ご趣味等 テニス，クラシック音楽鑑賞，フルート演奏，囲碁四段，読書（Jonathan Stroud の小説）。

・お申込み方法

下記Zoom受付サイトから聴講者登録をお願いします。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZAodO-hqjgoG9ZyY32Aqm8xUIj2dL4JhXPa>



FAXご利用の方は[こちらからお願いします。](#)

・参加費

MC会員と学生無料、日本油化学会会員1000円、その他2000円

・振込先

三菱UFJ銀行 練馬平和台支店
普通0472522 マスターズクラブ ナガヤマ マスゾウ
なお、振込手数料は参加者負担でお願いいたします。

・油脂工業会館へアクセス

油脂工業会館 9F大会議室



最寄駅からの道順

- ・JR東日本 東京駅
八重洲中央口より 徒歩約9分 (約700m)
八重洲地下道日本橋方面出口より徒歩6分 (約500m)
- ・東京メトロ銀座線 日本橋駅
B1出口より 歩道橋経由 徒歩約5分 (約400m)
- ・東京メトロ東西線日本橋駅
D1出口より 徒歩約3分 (約300m)
- ・都営地下鉄浅草線日本橋駅
D1出口より 徒歩約3分 (約300m)